

令和7年度第2回地区活動実行委員会「実行活動のまとめ」記入用紙

【常盤松】地区

■調査結果からわかる地区の課題等

①【使用時間・時間の使い方】

スマートフォンを使う時間を決め、使いすぎないようにしている。
勉強中や食事中、夜遅い時間などには使わないように気をつけている。
一日一時間以内を目標にし、スマホ以外の時間も大切にしている。

■【使い方・ルール】

スマートフォンを使うときは、決められたルールを守るようにしている。
勝手にアプリを入れたり課金をしたりせず、使う前に保護者に確認している。
LINEの使い方や返信の仕方にも注意し、マナーを守って使うようにしている。

■【安全・個人情報】

知らない人からのメッセージや電話には出ないようにしている。
名前や住所、学校名などの個人情報はインターネットに出さないようにしている。
怪しいサイトやメールを開かず、何かあったときはすぐ大人に相談するようにしている。

●【SNS・ネットマナー】

SNSでは投稿する前に内容をよく考えるようにしている。
相手を傷つけるような言葉や、軽い気持ちでの投稿はしないようにしている。
知らない人とやり取りをせず、安全で正しい使い方を心がけている。

●【闇バイトについて】

闇バイトとは、「楽に稼げる」「短時間で高収入」などの言葉で人をだまし、犯罪に関わらせるものだ。
SNSやネットの広告などで募集されることが多く、応募すると強盗や詐欺などの犯罪をさせられる。
一度関わると、個人情報を知られて脅され、やめることができなくなることもある。
若者や学生が巻き込まれる事件が増えており、とても危険なものだ。

■【特殊詐欺・オレオレ詐欺について】

特殊詐欺は、電話やメールなどで人をだまし、お金を振り込ませる犯罪のことだ。
警察官や息子などを名乗って信じさせる「オレオレ詐欺」もその一種である。
だまされた人が現金を渡してしまうケースが多く、ニュースでもよく取り上げられている。
このような詐欺は、人の気持ちを利用してお金を奪う悪質な犯罪である。

△【危険性と注意点】

闇バイトや詐欺はすべて犯罪であり、関わると逮捕されることもある。
「簡単に稼げる」「高収入」などのあまい言葉には絶対にだまされないようにする必要がある。
SNSで知らない人からの誘いには応じず、怪しい話を見つけたら大人や警察に相談することが大切だ。

上記はSNSの使い方アンケートとして常盤松中学校の生徒に質問を行い、結果をまとめたものである。結果として多くの生徒がSNSやスマートフォンの使い方について様々なことを意識しながら生活していることがわかった。事前に保護者に確認をとったり、何かあった時にはすぐに大人に相談するなど抱え込まないようにする意識もみられる。フィルタリングを活用しているご家庭も多く、「サイトのアクセス制限」「〇時以降は使用不可」「1日の使用上限〇時間」というような形で、SNSやスマートフォン、有害サイトへの接触を物理的に断つようにしていることがわかった。一方でフィルタリングがかかっていなかったり使い方について特に相談していない家庭があるのも現状である。子供が自分で考えて使うことができていると考えることもできるが、気付かないうちに危ない方向へ進んでしまう可能性を秘めていると考えることもできる。青少年の非行化防止及び健全育成を目的として活動する補導員として地域へ声を届けていくべきだと考える。

令和7年度常盤松地区店舗利用状況調査で聞き取りした具体例ほか

業種	万引き・たむろ・マナー・課金トラブル他の具体例、店舗から聞き取った内容の要点
コンビニエンスストア	<ul style="list-style-type: none">夏休み中の高校生の利用方法について駐車場で座ったり寝転んだりしてゐる様子が夏休みに数回あったとのこと。小学生のトイレの利用方法について「あまりよくなかった」との解答あり、様子を見守ったとのことなので今後変化があればより詳細な話を聞いていきたい。
スーパー・マーケット	<ul style="list-style-type: none">基本的に問題はなし。家族での来店が多くため大きなトラブルなどは起こらない。